令和９年度　第１回　京都大学大学院人間・環境学研究科　修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：061.東アジア文学・言語論

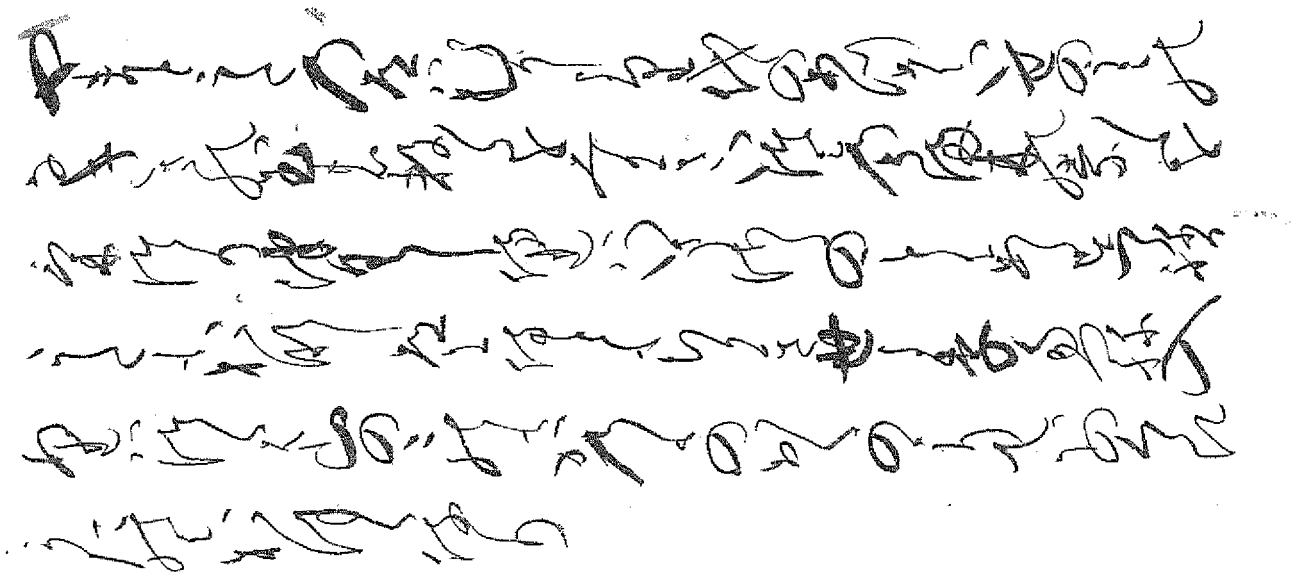
（注意）複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

以下のⅠ～Ⅶの設問について、日本語学・日本古典文学はⅠ～Ⅳ、中国語学・中国古典文学・中国語圏近現代文学はⅤ～Ⅶを選択し、指示に従い解答しなさい。

日本語学・日本古典文学

日本語学・日本古典文学（上代）を専攻する者はⅠ・Ⅱ・Ⅲを解答しなさい。日本古典文学（中古・中世・近世）を専攻する者はⅠ・Ⅱ・Ⅳを解答しなさい。ただし、いずれの解答も設問番号（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ……）ごとに別の解答用紙を用い、漢字表記の日本語により解答しなさい。

Ⅰ　次の文の全文を、必要に応じて句読点、濁点等を補って翻字しなさい。



心経『ももあいこと』

Ⅱ　次の語事項の中から三つを選んで解説しなさい。

（１）名詞述語文　　（２）連濁　　（３）和泉式部日記　　（４）井原西鶴　　（５）歌謡謡物　　（６）歴史小説

令和9年度　第1回　京都大学大学院人間・環境学研究科　修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：061.東アジア文学・言語論

（注意）複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

Ⅲ　次の設問に全問答えなさい。

問一　次の歌は萬葉集巻第四に所収されている。鏡王女歌の傍線部「風をだに」という表現が歌群として前の額田王歌を承けているとみた場合、二度現れる「風をだに」という表現はそれぞれどのような意味だと解釈できるか、説明しなさい。

額田王、近江天皇を偲ひて作る歌一首

君待つと　我が恋ひ居れば　我がやどの　簾動かし　秋の風吹く（巻四・四八八）

鏡王女の作る歌一首

風をだに　恋ふるはともし　風をだに　来むとし待たば　何か嘆かむ（巻四・四八九）

問二　次の二首は萬葉集巻第二に所収されている。鏡王女歌第四句冒頭の傍線部「吾」は現行の諸注及び諸本では「ワレ」と訓むが、「吾」字は「アレ」と訓むこともできる。「ワレ」訓と「アレ」訓とでは、どのような修辞上の異なりを生じるかを説明した上で、鏡王女歌を解釈しなさい。

近江大津宮に天下治めたまふ天皇の代〔天命開別天皇、諡を天智天皇といふ〕

天皇、鏡王女に賜ふ御歌一首

妹が家も　継ぎて見ましを　大和なる　大島の嶺（ね）に　家もあらましを（巻二・九一）

〔一に云ふ「妹があたり　継ぎても見むに」、一に云ふ「家居らましを」〕

鏡王女の和へ奉る御歌一首

秋山の　木の下隠り　行く水の　吾（われ）こそ益さめ　思ほすよりは（巻二・九二）

秋山之　樹下隠　逝水乃　吾許曽益目　御念従者（巻二・九二の本文）

問三　現在の日本語学（日本語史）の研究動向から文字・表記のトピックをひとつ取り上げて、その課題と展望について説明しなさい。

Ⅳ　次の設問に全問答えなさい。

問一　『自讃歌』について、知るところを述べなさい。

問二　古活字版の歴史について、具体的な作品を示して記述しなさい。

令和９年度　第１回　京都大学大学院人間・環境学研究科　修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：061.東アジア文学・言語論

（注意）複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

中国語学・中国古典文学・中国語圏近現代文学

Ⅴ～Ⅶを解答しなさい。ただし、いずれの解答も設問番号（Ⅴ～Ⅶ）ごとに別の解答用紙を用い、日本語により解答しなさい。

Ⅴ　次の問１・問２を解答せよ。

問１．次の文章の下線部を日本語に訳せ。

楚莊王圍宋，有七日之糧，曰：「盡此而不克，將去而歸。」於是使司馬子反乘闕而窺宋城，宋使華元乘闕而應之。子反曰：「子之國何若矣。」華元曰：「憊矣。易子而食之，柝骸而爨之。」子反曰：「嘻，甚矣憊。雖然，吾聞圍者之國，箝馬而抹之，使肥者應客。今何吾子之情也。」華元曰：「吾聞君子見人之困則矜之，小人見人之困則幸之。吾望見吾子似於君子，是以情也。」子反曰：「諾。子其勉之矣。吾軍有七日糧爾。」揖而去。子反告莊王，莊王曰：「若何。」子反曰：「憊矣。易子而食之，柝骸而爨之。」莊王曰：「嘻，甚矣憊。今得此而歸爾。」子反曰：「不可。吾已告之矣，曰：軍亦有七日糧爾。」莊王怒曰：「吾使子視之，子曷為而告之。」子反曰：「區區之宋，猶有不欺之臣，何以楚國而無乎。吾是以告之也。」莊王曰：「雖然，吾今得此而歸爾。」子反曰：「王請處此，臣請歸耳。」王曰：「子去我而歸，吾孰與處乎此。吾將從子而歸。」遂帥師而歸。君子善其平己也，華元以誠告子反，得以解圍，全二國之命。

問２．全文を日本語に訳せ。

[redacted]

Ban Wang, *The Sublime Figure of History: Aesthetics and Politics in Twentieth-Century China,* Stanford University Press, 1997, pp. 55-56.

令和９年度　第１回　京都大学大学院人間・環境学研究科　修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：061.東アジア文学・言語論

（注意）複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。
ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

Ⅵ　次の（A）（B）（C）のうち、中国語学を専攻する者は（A）を、中国古典文学を専攻する者は（B）を、中国語圏近現代文学を専攻する者は（C）を選択し、解答せよ。

（A）中国語史における言語接触について、知るところを述べよ。

（B）次の詩を解釈せよ。

馬戴「灞上秋居」

灞原風雨定、晩見雁行頻。落葉他鄉樹、寒燈獨夜人。
空園白露滴、孤壁野僧鄰。醉臥郊扉久、何年致此身。

（C）郁達夫の具体的な作品を一つ取り上げ、そのテーマと特徴を分析せよ。

Ⅶ　次の用語・固有名詞から五項目を選んで、それぞれ知るところを述べよ。各解答の最初に、選択した項目の番号を明記すること。

①右文説	②意動用法	③話題化	④『韻鏡』
⑤梅堯臣	⑥「人虎伝」	⑦辺塞詩	⑧建安七子
⑨『林海雪原』	⑩国防文学論戦	⑪『語絲』	⑫莫言